

令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

南	小学校
---	-----

児童数	25名
-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.73	16.93	29.33	35.20	38.93	9.30	126.00	16.47	47.46
大阪市	16.11	18.44	33.14	38.26	42.95	9.59	148.22	20.07	50.83
全国	16.21	18.86	33.97	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
女子	18.86	18.86	39.71	36.86	31.86	9.89	130.71	11.86	53.57
大阪市	16.01	17.55	38.00	36.50	34.13	9.76	140.76	12.77	52.65
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31

結果の概要

男女ともに、「握力」の平均値は全国平均を上回っている。しかし、「反復横跳び」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」は、全国平均を下回っている。

体力合計点について、男子は、大阪市平均・全国平均ともに下回っている。女子は、大阪市平均は上回っているが、全国平均は下回っている。このような結果から、「全身持久力」「瞬発力」「巧緻性」「敏捷性」に課題があることが分かった。

児童質問紙の結果から、「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目は、男女ともに90%以上の児童が肯定的な回答をしている。また、「1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合」については、5%程度だった。多くの児童が体育の授業や休み時間、放課後などに運動やスポーツをしていることが分かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

これまで年間を通して、学校にある施設を生かして、サーキットトレーニング「南アドベンチャーランド」に取り組んできた。曜日ごとに学年の割り当てを設けて、週に1回ずつ取り組むことで、どの児童も運動場に出て、運動する機会となった。「つなひき&おにごっこタイム」や「なわとびぴょんぴょんタイム」にも取り組み、児童が意欲的に活動する姿が見られた。「なわとびぴょんぴょんタイム」では、長縄を使って、「大波小波（1・2年）」「8の字跳び（3～6年）」に組み込み、練習前と練習後の記録を把握しておくことで、記録の伸びを実感することができた。

夏休みに開催された「大阪市小学生スポーツ交流大会～陸上競技の部～」に参加したことで、他校の児童との交流ができたことやヤンマースタジアム長居で走れたことは、児童にとって運動に親しむ機会となった。

今後取り組むべき課題としては、児童が意欲的に活動できる取り組みを今後も行っていくことである。結果の概要で示した「全身持久力」「瞬発力」「巧緻性」「敏捷性」の課題を達成できるような取り組みを重点的に行っていきたい。